

第八番 安楽寺（聖観世音菩薩）

＊宗 派 曹洞宗

＊御本尊 阿弥陀仏

＊開 基 天応高順大和尚 天文年間（一五四三示寂）

＊現住職 第三十一世 宗澤文良

＊〒二一〇〇四一 川崎市中原区下小田中二―三六一―

＊☎〇四四―七六六―九〇九八

＊南武線「武蔵中原」駅下車 南へ徒歩十分

天分年間の初め頃、甲斐の国から高順という僧が来て、内藤氏の元祖内藤内匠之助方に一泊し、庵を求めたので西向きの阿弥陀堂に居住させた。その頃疫病がはやり多数の死亡者が出た。高順和尚と内匠之助の兩人でこれらを埋葬した。その施主が檀家になった。富士山と向かい合っているところから寺号を向富山安楽寺と号した。二代玉峯祖林が小寺を建立し禅寺とした。後に戸塚の川上の徳翁寺（大本山直末）の五世乾室嚴隆大和尚禅師の位牌を勧請し本寺と定めた。創設以来四百八十年。

ご 詠 歌

ありがたや

ちかいをねがう

かんぜおん

にせあんらくと

こころにきわめて



（第8番 安楽寺）